

○わが国は自動車乗車中死者が先進国最小。一方、歩行中・自転車乗車中死者は最多  
○幹線道路等の整備が進展した今まさに、生活道路を歩行者中心にすることが可能に

## 機能分化

自動車交通を担う幹線道路等



歩行者中心の暮らしの道(生活道路)

- ①幹線道路等の整備の進展により、自動車を安全性の高い道路へ転換
- ②ビッグデータを活用し、個々の道路の潜在的な危険箇所を解消
- ③暮らしの道を自動車と歩行者の混在空間から歩行者の空間へ



世界一安全な道路交通を実現するため、平成28年度からの5年間で、  
対策実施エリアでの歩行中・自転車乗車中死者の半減<sup>※1</sup>を目指す

H27死者数 4,117人 (うち歩行中・自転車乗車中死者数 2,106人)<sup>※2</sup>

※1 国土交通省試算値

※2 警察庁資料